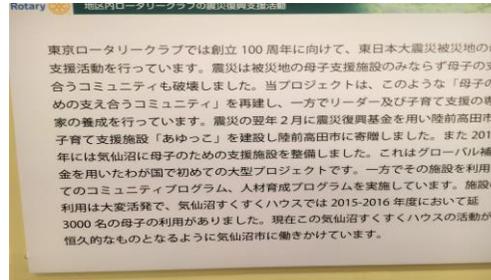


■東京ロータリークラブ「東北すくすくプロジェクト」

東京ロータリークラブは創立100周年を迎える2020年10月までの長期プロジェクトとして、2011年3月11日に発生した東日本大震災からの復興支援を行っています。プロジェクトの詳細は、地震と津波によってすべてを失った赤ちゃんとママたちのための「東北すくすくプログラム」です。(当クラブは開始年度より毎年5万円の協力金を継続中。)



地区大会で「すくすくプロジェクト」のパネル展示がありました



☆「東北すくすくプロジェクト」は、「子育て支援施設の整備」「支え合うコミュニティ作り」「子育てに係る人材育成」の三つの柱で構成されています。

震災直後は地域外からの支援が重要ですが、1年たつとかえってうまくいきません。そこで、われわれロータリアンが直接何かをするのではなく、地域のグループを育てて、そこがさらに奉仕活動を広げていく形を目指しました。

最初に取り組んだのは、津波で流された陸前高田市の子育て支援センター「あゆっこ」の整備でした。コミュニティの場の復興です。東日本大震災復興基金から1100万円の補助を頂き、東京RCも1000万円を拠出して、震災翌年の立春に竣工しました。コミュニティの場ができたことで、集まったお母さんグループが仮設住宅のお年寄りの支援を始めるようになり、助け合いの輪が広がったのは全く予期していなかった成果でした。

次に、われわれが取り組んだのは、母子支援プログラムへの支援です。具体的には、「ママサロン」というコミュニティづくりと「母乳育児支援セミナー」の開催です。セミナーでは、子育ての相談に乗ることができる人材育成を目指しています。

三つ目は、「気仙沼すくすくハウス」です。陸前高田市の「あゆっこ」のようなたまり場を作ろうと考えました。ロータリー財団のグローバル補助金が使われています。しかし、気仙沼は市街地の3分の1が流されて場所がないので、ロータリアンが持っている物件を借りたところ、利益供与に当たるのではないかと指摘されたり、海外からの活動資金が3割以上なければ補助金が成り立たないなどのことがありました。世界中のロータリーから支援を頂き、予算19万7000ドルの大型プロジェクトになりました。実際、気仙沼すくすくハウスは地元の子育て中のお母さんにはなくてはならない施設となり2015-2016年度では延3000名近い利用がありました。

さて今後の課題ですが、この「気仙沼すくすくハウス」を恒久的な施設とすることに尽きます。グローバル補助金は、恒久的な人道支援の「きっかけ」となることに本来の意味があります。気仙沼市では2018年4月を目指して新しい子育て支援施設の建設が進められており、その施設の幼児園児未就園児のエリアにすくすくハウスが合流することで話が進んでおります。この活動には地元の気仙沼ロータリークラブに市役所への働きかけなど全面的な協力を頂いています。

(文:東京RC 橋本 有史 会員)

週



報

ロータリー：  
変化をもたらす

Rotary: Making a Difference

イアン H.S. ライズリー  
2017-18年度 国際ロータリー会長



第2677号

平成30年  
4月10日  
2018年  
APR

Rotary Club of Naha  
那覇ロータリークラブ

第2801回例会報告  
例会記録・予定

出席報告

会 員 数	75名
出 席 計 算 会 員	75名
出 席	31名
欠 席	44名
出 席 率	41.33%
訂 正 出 席 率	61.33%

欠席会員名 親泊、森、新垣(典)、上原(義)、中村、湧川(祐)、比嘉、東川平(靖)、梶原、吉村、新垣(豊)、平良(健)、石堂、平良(修)、木全、鈴木、松島、崎山、新里、杉本、松本、三反園、長嶺(善)、保田盛、喜屋武、國吉、伊志嶺、今福、渡辺、吉橋、下石、新垣(安)、倉林、朱、宜保、井手上、北田、上原(進)、与那覇、真栄城、新垣(竜)、菊永、長嶺(国)、東川平(信)。

MAKE-UP 傍田<那覇東>

ビジター

崎原 信一 氏 (那覇西)

ゲスト

桑野 直彦 氏 (亀川榮一会員ご紹介)  
(農林中央金庫那覇支店長)

■理事会 5/1 (火) 11:30~ 於: 例会場

☆プログラム

4月17日(火)「那覇RC第10回勉強会」

RID2580 地区研修サブリーダー

根路銘 敦 パストガバナー補佐 (那覇東)

4月24日(火)「これからの那覇市政について」

那覇RC名誉会員・那覇市長 城間 幹子 氏

5月1日(火)「イニシエーションスピーチ」

野村證券(株)那覇支店長 北田 敦司 会員

5月8日(火)「イニシエーションスピーチ」

(株)おきぎん経済研究所 代表取締役社長

東川平 信雄 会員

5月15日(火)「那覇RC第11回勉強会」

RID2580 地区研修サブリーダー

根路銘 敦 PAG (那覇東)

5月29日(火)「イニシエーションスピーチ」

日本たばこ産業(株)沖縄支店 支店長

川井田 浩 会員

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1 (パシフィックホテル沖縄1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス [naha-rc@ml.cosmos.ne.jp](mailto:naha-rc@ml.cosmos.ne.jp) HP アドレス: <http://naha-rc.org/>

会長 名嘉 義明 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 山城 博美 副会長/クラブカウンセラー 新城 安雄  
幹事 當間 卓 クラブ会報委員長 新里 哲郎 副委員長 具志堅 興一

■ニコニコBOX(\*^^)



おめでとございます  
\* 四月のお誕生日

安里 政晃 会員・碓井 暁 会員・吉岡 洋平 会員  
誕生日祝いありがとうございます。

安里 繁信 会員

島ぜんぶでおきな祭！第10回沖縄国際映画祭が4月19日～22日の間、開催されます。

許田 洋 会員

久しぶりに参加しました。今後ともよろしくお願ひします。にこにこ。

名嘉 義明 会長

許田会員、具志堅会員イニシエーションスピーチありがとうございました。例会もしっかり出席して下さいね。にこにこ。

■幹事報告

當間 卓 幹事

\*他クラブ例会変更

石垣 RC 4/18 (水) 台北大同 RC 姉妹締結調印式  
受付 17:30 調印式 18:00～ 懇親会 19:00～  
場所：アートホテル石垣島「八重山の間」  
登録料：10,000 円

コザ RC 4/19 (木) 点鐘 19:00 場所: 和食 樂(北中城村島袋 1251) ビジター費：5,000 円

■新会員候補者についての通知

理事会で次の方の入会が承認されましたので異議のある方は7日以内に申し出下さい。  
氏名：桑野 直彦 (くわの なおひこ) 氏  
職業分類：農林金庫  
職業：農林中央金庫 那覇支店長

■特別会計 2017～2018年度 ニコニコBOX

前回までのニコニコBOX	¥426,500
本日のニコニコBOX	¥10,000
ニコニコBOX 累計	¥436,500

■会長報告

名嘉 義明 会長

\*東京ロータリークラブより「東北すくすくプロジェクト」への協賛金に対するお礼状が届きました。(週報P.4へ関連記事を掲載。)

■Rotary.orgが「ウェビー賞」にノミネート：投票にご協力を

記事 Ryan Hyland  
インターネット界のアカデミー賞ともいわれる「ウェビー賞」に国際ロータリーのウェブサイト (Rotary.org) がノミネートされました。

Rotary.orgは第22回となる本賞 Associations 部門の最終5候補の一つに選ばれました。デザインが一新された国際ロータリーのウェブサイトが、インターネット界のアカデミー賞といわれる「ウェビー賞」にノミネートされました。ウェビー賞のエグゼクティブディレクター、クレア・グレーブス氏は、「インターネットの新たな創造と革新」であるとして、これらの最終候補を称えています。「優れたウェブサイトの中から選りすぐられてノミネートされたことは、非常に素晴らしい達成といえます」とグレーブス氏は言います。ウェビー賞は、インターネット界で世界を代表する賞。Rotary.orgは、審査員賞に加え、一般の投票によって選ばれ People's Voice 賞で受賞を競います。審査員賞の選考基準には、コンテンツ、構成とナビゲーション、ビジュアルデザイン、機能性、インタラクティブ性、イノベーション、ユーザー体験などが含まれています。People's Voice 賞には **どなたでも投票できます** (投票期間は4/19まで)。投票方法はロータリーのブログから。各部門の受賞者はニューヨーク市で4/24に発表されます。

■ハイライトよねやまNo.217より

2018 学年度の奨学生は854人です。新規採用者602人、継続者252人(4月10日現在)800人を超えるのは2012年以來のことです。国・地域別にみると中国 39.2%、ベトナム 14.8%韓国 9.8%マレーシア 4.4%台湾 4.1%の順。またプログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が788人(学部299人、修士280人、博士209人)地区奨励奨学金16人クラブ支援奨学金12人、海外学友会推薦奨学金5人、海外応募者対象奨学金33人となっています。今月は各地区でオリエンテーションが開催され奨学生とカウンセラーが研修を終え、確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となりました。

■会長エレクト+次年度クラブ米山委員長+カウンセラーセミナーのご案内

日時：2018年6月5日(火) 受付開始15:30  
セミナー16:00～17:30 懇親会 17:30～19:00  
場所：ロワジュールホテル那覇「北殿の間」  
那覇市西3-2-1 TEL098-868-2222  
登録料：おひとり1万円

■第35回例会

(株) 沖縄ヤマハ 代表取締役 許田 洋 会員



「イニシエーションスピーチ」

仕事・趣味・ロータリーに頑張ります！

1971年生まれで今年47歳。趣味はバイク、ゴルフにBBQ。妻、男の子3人の5人家族。ヤマハというピアノ、船とか浮かぶと思うが、オートバイも扱っており、最近では電動アシスト自転車、発電機なども扱っている。父が1964年に創業し、来年で55年になる。31歳で経営に携わり、電動車イスなどのレンタル、次世代型のコミュニティビークルも取り扱うようになった。

電動アシスト自転車のシェアリングも5年前から自治体と一緒に実証実験をはじめ、ソフトバンクグループのオープンストリートのプラットフォームを使い、今年1月から試験的に自社でも取り組んでいる。自転車を100台、ポートも50カ所くらい設置できるよう取り組んでいる。ヤマハはゴルフカートも販売しているが、その県内代理店の社長から改造してたくさん乗れるようにできないかという相談があり、うるま市のものづくりネットワークに持ち込んだところ、メーカーでなかなか出来なかったことが1カ月で出来た。それで沖縄で生産しようということになり、今年から生産を開始した。カヌチャリゾートでの実証実験を行い、平和祈念公園、中城城跡では販売から2年経ったが、トラブルもなく、県外、アジアへ向けて販売できないか模索している。弊社が強みとしているのは、メンテナンスも県内で自己完結できるようになっている点。精度も上がっており、安心して乗っていただけている。

(有) 浦添電材 代表取締役 具志堅 興一 会員



是非、ヤギをペットに！と力説されました

1976年生まれで今年42歳。趣味はゴルフを少しと最近では農業に目覚め、ハルサーを楽しんでいる。会社は35周年を迎え、私は2代目。1983年に設立された電設資材の会社だが、扱っているものが特殊で600V以上の資材、主に沖縄電力とか高圧引き込み部分の資材を扱っている。仕事は特殊で表に出ることはないが、インフラ事業の一端を担っていると自覚している。最近では北部の方で海洋博当時に建てた鉄塔を建て替える工事に携わっている。もう1つの仕事は、名護での農業生産法人・ぐしけんファーム。父親が設立したもので、10年前に他界してから受け継いだ。マンゴー生産とヤギのミルクを使ったアイスクリームやヤギミルクを原料として県外へ送っている。低農薬栽培に取り組み、10年くらいで土がやっと生き返ってきた。ライフワークとして名護の農業委員会もさせてもらっている。次世代農家の育成というか、農家の2、3代目を掘り起し、使っていない農地を使ってもらおうということをやっている。大先輩とチームを組み、2代目に引き継いでもらったり、本土から移住する人も多く、その人たちにも農地を解放してもらえるような雰囲気づくりをやっている。ヤギが好きで、牛と同じように乾燥牧草や飼料で育てるような方向を目指して日々研究している。農家の力と会社での営業の力を合わせ、より良い社会づくりに貢献していきたい。(文責：石堂 清彦)